

## 第 8 回総合科学技術会議議事録 (案)

1 . 日 時 平成 1 3 年 7 月 1 1 日 (水) 1 0 時 4 5 分 ~ 1 1 時 0 0 分

2 . 場 所 総理官邸大食堂

## 3 . 出席者

議長 小泉 純一郎 内閣総理大臣

議員 福田 康夫 内閣官房長官

同 尾身 幸次 科学技術政策担当大臣

同 片山 虎之助 総務大臣 (代理 小坂 憲次 総務副大臣)

同 塩川 正十郎 財務大臣

同 遠山 敦子 文部科学大臣 (代理 青山 丘 文部科学副大臣)

同 平沼 赳夫 経済産業大臣

同 吉川 弘之 日本学術会議会長

同 石井 紫郎

同 井村 裕夫

同 黒田 玲子

同 桑原 洋

同 志村 尚子

同 白川 英樹

## (臨時)

議員 武部 勤 農林水産大臣 (代理 遠藤 武彦 農林水産副大臣)

同 川口 順子 環境大臣

同 竹中 平蔵 経済財政政策担当大臣

## 4 . 議事

( 1 ) 平成 1 4 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針について

( 2 ) その他

(配付資料)

- 資料 1 - 1 平成 14 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針(案)
- 資料 1 - 2 各分野の推進戦略に関する調査・検討について
- 資料 2 平成 13 年度における科学技術振興調整費による実施課題等の評価のための基本的な方針について(案)
- 資料 3 第 7 回総合科学技術会議議事録(案)

## 5. 議事概要

### 【尾身議員】

おはようございます。只今から、第 8 回総合科学技術会議を開会致します。

今回は臨時議員といたしまして、農林水産大臣、環境大臣、経済財政政策担当大臣の 3 大臣にも御参加をお願いしております。なお、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣につきましては、代理として副大臣が御出席いただいております。

(1) 平成 14 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針について

### 【尾身議員】

最初に、議題(1)の「平成 14 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針について」について御審議をいただきます。本件につきましては、前回の会議における御意見、あるいは重点分野推進戦略専門調査会における調査・検討、関係閣僚議員の御意見等を踏まえまして、私と有識者議員の方々に最終案を取りまとめさせていただきました。井村議員から御説明をお願いいたします。

### 【井村議員】

おはようございます。ただいま、尾身議員がお話しになりましたように、前回 6 月 26 日の本会議におきまして、閣僚議員の方々からいろいろな御意見をいただきました。その御意見も踏まえ、検討して最終的な案をまとめたのが資料 1 - 1 でございますので、それをご覧いただきたいと思います。

まず、最初に基本的な考え方ですが、ここは特に変えておりません。科学技術創造立国によって我が国の未来を拓いていくという基本的な方針を述べております。

2 番目は、科学技術の戦略的重点化であります。これも 4 つの重点分野、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料の 4 分野について、めり張りを付けて、

この4分野とそれ以外の分野を区別していく。4分野の中でも、また重要なものを取り上げていくことにしております。

基礎研究につきましては、研究者の自由な発想に基づいた幅広い、質の高い研究を重視するという表現を加えました。

実は、今朝、尾身大臣の御主催でノーベル生理学医学賞の選考委員長の講演がありましたけれども、そのとき、多くのノーベル賞受賞者は大体30歳ぐらいのポスト・ドクの時代に、まず最初のアイデアを得て、それからそれを徐々に成熟させ、それが一般に認められるとノーベル賞の対象になるという大変興味の深い話をされました。そういった新しい芽を育てていくことは、やはり非常に大切なことですので、基礎研究は是非重視していただきたいと考えております。

次に重点課題の3ページをご覧くださいと思います。「ライフサイエンス」につきましては、前回の御意見を入れまして「食糧供給力の向上に寄与」という言葉を入れしました。その寄与をするために、ゲノム解析とその成果を活用して、高品質、かつ多様な作物の開発をするというところがイ)のところに入っております。

次に「環境」のところをご覧くださいと思います。5ページから6ページにかけてでございます。環境については、地球温暖化に関連して、水循環が非常に大きく変動しています。例えば、洪水があったり、あるいは干ばつが起こったりしているわけですので、水循環変動の問題をア)のところに加えさせていただきました。

また、自然共生型の都市をつくっていくために、「自然共生型流域圏・都市再生技術研究」を環境の立場から研究していくという新しい項目をウ)として加えさせていただいております。

「エネルギー」のところでございますが、ここは基本的には変わっておりませんが、少し表現を整理しております。

次に9ページをご覧くださいと思います。科学技術システム改革のところでありませぬ。ここは、基本的には大きな変化はございませぬ。まず「競争的研究環境の形成に資する競争的資金の改革と拡充」というところでは、若手の研究者にできるだけ研究費が回るようにしていくということ、それから、研究費の制度を適正なものにしていくということが書かれております。

それから、「大学等の施設の整備」であります。これは大学院の施設の改善、それから卓越した研究拠点を重点的に整備していく。従って、横並びではなくて、それぞれ評価をして、良いところの施設の改善をしていくということを書いております。

それから「産官学連携の推進」のところですが、これは、やはり非常に大きな課題でありまして、専門調査会の下に産官学連携に関するプロジェクトチームを発足させ、そこで具体的な方針を検討する予定であります。

それから、「地域科学技術の振興」は、大変重要な課題と考えております。これも産官学連携の一環としてとらえていく必要があると思います。

3. 「整理、合理化、削減の考え方」であります。ここには基本的な変更はございません。

4. 「重点化及び整理、合理化、削減の進め方」は若干文言を変更いたしました。これも大きな変更はございません。

昨日、経済財政諮問会議が新しい概算要求の在り方についての御意見を発表されましたが、それに基づいて、この重点化、合理化、あるいは削減といったことをしていく必要があると思っております。

14ページ、最後であります。「国民の理解と学習の振興」というところがあります。その一番最後に「将来を担う若者が科学的なものの見方や考え方、科学技術の基本原則を学習、体得できるように努めることが重要である」という教育に関する一言を入れております。

以上が大きな変更点であります。

それから、これは総理からもご指摘いただいたように思いますが、どうもカタカナが多過ぎるといふ御意見がありましたので、できるだけ日本語にすることにいたしました。例えば、ユビキタスネットワーク社会という言葉がありまして、これは至るところにネットワークが存在するという意味ですけれども、これはちょっと一般の方々には簡単にはわからないだろうということで、文言を変えております。そのほか、日本語にできるところは、できるだけ日本語にしましたが、例えばコミュニケーションやシミュレーションなど、いろいろ日本語にならない難しい言葉がありますので、そういう言葉は残しておりますが、その点、お許しをいただきたいと思っております。10か所ぐらい英語を日本語に直しました。

なお、本日、資料1-2をお手元に配布しております。これは「各分野の推進戦略に関する調査・検討について」と題してありまして、今日の資料1-1の基本方針を作るに当たって基礎としたものでございます。しかし、まだ未完成でありますので、これから更に検討を加えて、9月末ぐらいまでに重点領域や事項に関して具体的な研究開発の目標、あるいはそれを達成するための推進方策の詳細を調査・検討したいと考えております。また、御意見をいただければ大変幸いです。

#### 【尾身議員】

どうもありがとうございました。この案につきましては、関係各省庁とも相談をさせていただいてまとめさせていただいたものでございます。

それでは、「平成14年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」について、原案のとおり決定いたしますがよろしゅうございましょうか。

(「異議なし」と声あり)

【尾身議員】

それでは、原案通り決定し、総合科学技術会議から小泉総理に対して意見具申をさせいただくことにいたします。

本件に関しましては、今後引き続き経済財政諮問会議との十分な連携を図ってまいりたいと考えております。

また、資料1 - 2の「各分野の推進戦略に関する調査・検討」につきましては、今後更に調査・検討を進め、9月末を目途に各分野の推進戦略として取りまとめていきたいと考えております。

(2) その他

【尾身議員】

議題2の「その他」に移らせていただきます。

まず、科学技術振興調整費についてでございますが、平成13年度の実施課題の評価につきましては、資料2のとおり対応することとさせていただきたいと存じます。

次に第7回本会議の議事録についてでございますが、既にチェックしていただいておりますので、本会議終了後、公表することといたします。

また、本日の資料につきましては、すべて公表することとさせていただきたいと思っております。

それでは、最後に小泉総理から御発言をお願いしたいと思います。

【小泉議長(内閣総理大臣)】

今日はありがとうございます。短期間にめり張りの効いた取りまとめをしていただきましてありがとうございます。

科学技術は小泉内閣の中でも最重要分野であり、力を入れるところでありますが、増やすべき予算と削るべき予算をしっかりと見極めて、今日決められた方針にのっとり関係閣僚も概算要求に向けてしっかりとした対応をお願いしたいと思っております。

本当に皆さん、ありがとうございました。

**【尾身議員】**

ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の総合科学技術会議は終了させていただきます。ありがとうございました。

- 以 上 -